

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	清田リハビリセンター		
○保護者評価実施期間	令和8年 2月 1日		令和8年 2月 28日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	8名	(回答者数) 6名
○従業者評価実施期間	令和8年 2月 1日		令和8年 2月 28日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	8名	(回答者数) 8名
○事業者向け自己評価表作成日	令和年 3月 31日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	児童発達支援計画に基づき、子どもの特性や発達段階に応じた支援を行っている。	送迎表やスケジュール表を活用し、職員間で児童の状況や支援内容の共有を行っている。	ミーティング等を活用し、支援内容の振り返りや情報共有を継続して行う。
2	保護者との連携を大切にし、児童の様子や体調について情報共有を行っている。	連絡帳や送迎時のやり取りを通して、日々の様子を丁寧に伝えている。	面談や相談の機会を設け、保護者が安心して相談できる環境づくりを行う。
3	安全管理や事故防止への意識を持ち、職員間で注意喚起を行っている。	ヒヤリハットの共有を行い、安全な支援環境づくりに努めている。	防災訓練や緊急時対応の確認を行い、安全対策の強化を図る。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	地域との交流や関係機関との連携の機会が少ない。	日々の支援業務が中心となり、交流の機会が限られている。	関係機関との情報共有を行い、可能な範囲で連携を図る。
2	保護者同士の交流や家族支援の機会が十分ではない。	保護者の就労状況等により参加機会の確保が難しい。	お便り等で情報提供を行い、相談機会を設ける。
3	研修やケース会議の時間の確保が難しい場合がある。	送迎や支援時間の関係で、職員が全員集まる時間が限られている。	朝礼やミーティング時を活用し、短時間でも情報共有を行う。